



2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL <https://www.cec-ltd.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大石 仁史
 問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）中村 義幸 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年1月期第3四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	35,983	△5.5	3,734	△15.9	3,798	△15.7	3,056	5.5
2020年1月期第3四半期	38,087	3.0	4,438	20.1	4,507	21.1	2,897	15.9

（注）包括利益 2021年1月期第3四半期 2,868百万円（△4.6%） 2020年1月期第3四半期 3,006百万円（49.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	87.38	86.73
2020年1月期第3四半期	82.97	82.29

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	42,340	32,815	77.1
2020年1月期	41,374	31,322	75.3

（参考）自己資本 2021年1月期第3四半期 32,652百万円 2020年1月期 31,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年1月期	—	20.00	—	—	—
2021年1月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△3.6	5,200	△12.4	5,300	△12.3	4,200	15.4	120.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	37,600,000株	2020年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	2,606,720株	2020年1月期	2,676,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	34,983,984株	2020年1月期3Q	34,923,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年2月1日～2020年10月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策として実施された経済活動の自粛により、急速に景気の減速が進みました。緊急事態宣言解除後は経済活動も段階的に再開され、政府による景気支援策の効果や海外経済の改善もあって一部で持ち直しの動きが見られるものの、欧米での感染再拡大など事態の収束が見通せない中、先行き不透明な状態が続いています。

情報サービス産業においては、ウィズコロナの時代に対応したクラウドサービスの活用や、テレワーク環境の整備・強化に向けた需要の増加が続いています。また、生産性向上や自動化・省力化に加えて、事業の強化や変革に向けた戦略的IT投資需要についても引き続き底堅く推移いたしました。しかしながら、長期化する経済活動の自粛に加え、景気後退に伴う企業の業績悪化により、一部で投資分野の選別が始まるなど予断を許さない状況が続いています。

このような情勢下、当社グループは社員およびお客様の安全確保を優先しつつ、オンラインセミナーやWeb会議を活用した営業活動の推進、リモート環境下での開発体制構築など非対面の事業活動を積極的に推し進め、第2期中期経営計画「PROMINENT（プロミネント）」で掲げた目標達成を目指し、事業効率のさらなる改善と事業規模拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績については、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いているものの、一部の顧客で停滞していたIT投資が再開されるなど、徐々に受注状況が改善されました。一方で、IT予算の抑制や開発商談の延伸・規模縮小等が継続している顧客もあり、売上高は359億8千3百万円、前年同期比21億4百万円(5.5%)の減となりました。利益面については、減収による利益の減少により、営業利益は37億3千4百万円、前年同期比7億4百万円(15.9%)の減、経常利益は37億9千8百万円、前年同期比7億8百万円(15.7%)の減となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、第2四半期連結会計期間に計上した特別利益「特別受取金」により30億5千6百万円、前年同期比1億5千9百万円(5.5%)の増となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(デジタルインダストリー事業)

デジタルインダストリー事業におきましては、西日本地区のシステム開発事業は堅調に推移しました。また、中部地区においてはコネクテッドカー関連ビジネスが堅調に推移したものの、システム開発事業が伸び悩んだほか、注力事業であるスマートファクトリー事業や組込みソフト開発・検証サービス事業などがIT投資抑制の影響を受けた結果、売上高は122億8百万円、前年同期比8億2千8百万円(6.4%)の減、営業利益は25億4千9百万円、前年同期比3億2千1百万円(11.2%)の減となりました。

(サービスインテグレーション事業)

サービスインテグレーション事業におきましては、ウィズコロナの環境下に適応した働き方が求められるなか、注力事業であるセキュリティサービス事業は堅調に推移しました。また、システム開発事業を中心に顧客のIT投資に改善がみられるものの、一部の顧客でプロジェクトの延伸や縮小などが継続された結果、売上高は237億7千5百万円、前年同期比12億7千5百万円(5.1%)の減、営業利益は37億6百万円、前年同期比4億3百万円(9.8%)の減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は423億4千万円となり、前連結会計年度末と比較して9億6千6百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が37億1千5百万円増加したことや受取手形及び売掛金が16億1千2百万円減少、有価証券が14億円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は95億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億2千6百万円の減少となりました。これは、流動負債その他に含まれる仮受金が5億3千1百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は328億1千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億9千3百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が16億5千3百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の連結業績予想につきましては、2020年9月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,050,208	19,766,057
受取手形及び売掛金	11,542,068	9,929,352
有価証券	1,500,000	100,000
商品	256,070	106,229
仕掛品	474,956	797,450
未収入金	18,726	12,706
未収還付法人税等	67,075	—
その他	897,581	996,433
貸倒引当金	△216,309	△8,666
流動資産合計	30,590,379	31,699,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,639,382	3,451,970
土地	2,004,644	2,004,644
その他（純額）	798,778	796,294
有形固定資産合計	6,442,805	6,252,909
無形固定資産		
その他	240,577	241,312
無形固定資産合計	240,577	241,312
投資その他の資産		
その他	4,152,464	4,198,978
貸倒引当金	△51,968	△52,058
投資その他の資産合計	4,100,495	4,146,919
固定資産合計	10,783,879	10,641,141
資産合計	41,374,258	42,340,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,091,237	2,780,567
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	874,756	428,310
賞与引当金	497,480	1,076,038
受注損失引当金	1,624	4,453
訴訟等損失引当金	300,000	—
その他	3,498,637	3,364,014
流動負債合計	8,627,335	8,016,985
固定負債		
長期借入金	54,600	41,000
長期末払金	513,602	487,095
役員退職慰労引当金	20,579	24,025
退職給付に係る負債	379,132	495,229
資産除去債務	454,641	460,061
その他	1,724	529
固定負債合計	1,424,280	1,507,942
負債合計	10,051,615	9,524,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,733,706	6,733,706
利益剰余金	19,166,772	20,820,281
自己株式	△1,707,818	△1,663,477
株主資本合計	30,778,661	32,476,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279,426	315,895
為替換算調整勘定	△12,739	△14,068
退職給付に係る調整累計額	97,530	△126,095
その他の包括利益累計額合計	364,218	175,731
新株予約権	179,762	163,534
純資産合計	31,322,642	32,815,775
負債純資産合計	41,374,258	42,340,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	38,087,309	35,983,260
売上原価	28,717,946	27,463,822
売上総利益	9,369,363	8,519,437
販売費及び一般管理費	4,930,850	4,785,047
営業利益	4,438,512	3,734,389
営業外収益		
受取利息	2,436	2,460
受取配当金	17,560	14,566
為替差益	630	924
保険配当金	11,343	11,275
持分法による投資利益	2,780	—
貸倒引当金戻入額	278	898
受取保険金	—	20,000
補助金収入	15,395	—
受取手数料	6,060	—
その他	15,945	22,309
営業外収益合計	72,431	72,435
営業外費用		
支払利息	2,882	2,688
持分法による投資損失	—	4,275
その他	650	1,294
営業外費用合計	3,532	8,258
経常利益	4,507,411	3,798,566
特別利益		
投資有価証券売却益	—	865
特別受取金	—	530,698
特別利益合計	—	531,564
特別損失		
固定資産除却損	532	746
投資有価証券評価損	—	32,550
投資有価証券売却損	—	4,590
支払和解金	—	50,000
特別調査費用	263,445	—
特別損失合計	263,977	87,886
税金等調整前四半期純利益	4,243,433	4,242,243
法人税、住民税及び事業税	1,501,697	1,156,481
法人税等調整額	△156,047	28,879
法人税等合計	1,345,649	1,185,360
四半期純利益	2,897,783	3,056,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,897,783	3,056,882

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	2,897,783	3,056,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,025	36,468
為替換算調整勘定	△6,129	△1,329
退職給付に係る調整額	△32,902	△223,626
その他の包括利益合計	108,993	△188,486
四半期包括利益	3,006,777	2,868,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,006,777	2,868,396

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2019年2月1日 至 2019年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,036,756	25,050,553	38,087,309	—	38,087,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,285	353,263	364,548	△364,548	—
計	13,048,041	25,403,816	38,451,857	△364,548	38,087,309
セグメント利益	2,871,079	4,110,304	6,981,383	△2,542,871	4,438,512

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,542,871千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,208,080	23,775,179	35,983,260	—	35,983,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,893	371,318	373,211	△373,211	—
計	12,209,973	24,146,497	36,356,471	△373,211	35,983,260
セグメント利益	2,549,449	3,706,941	6,256,391	△2,522,001	3,734,389

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,522,001千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。